

## ファービー2の修理法（足が外れた）

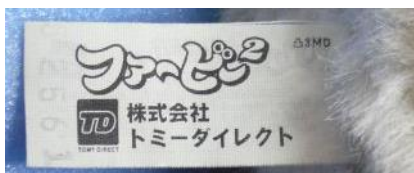
2022.04.22

トミー・マック

### 1. 外 観

おもちゃ名は「ファービー2」、Hasbro やサイドショウの12 インチを扱っていた日本代理店「トミーダイレクト」が2005 年に販売です。

「トミーダイレクト」は既に2010年に解散しています。



### 2. 特 徴

アメリカの Tiger Electronics 社が1998年に発売したおもちゃ（電子ペット、ペットロボット）の日本語バージョンのファービーの2代目です。

言語判別能力が新たに付加され、ホントの会話が楽しめるなど高度な音声認識が可能になったことが大きな特徴です。また前作同様、ファービー語と日本語を使いこなすバイリンガルになっています。

旧ファービーに比べサイズを一回り大きくし、6倍ものメモリーを搭載したので、このようにより生き物らしく、学習能力の高い新型ファービーが完成しました。その他にも前回は無かった ON/OFF スイッチが搭載され、好きなときにファービーと遊べるようになっています。

### 3. 故 障

初代と同じような故障の他に、ファービー2はくちばしがゴム素材で、またスプーンでエサをあげる要素があるので、破けてしまうことが多いです。また樹脂の経年劣化で足が外れることがあり、修理の際のネジを外す時、留めのボスが根元から割れることもあるので大変厄介です。

今回は両足共に割れて外れた故障です。

### 4. 原 因

分解と解析過程で分かったことは、

- ① 右足は足裏からの固定ネジの固定ボスが折れて千切れています。 → 樹脂の経年劣化
- ② 左足も固定ネジの固定ボスの千切れの他、固定ボスの足固定板が割れて2つに分かれています。  
→ 樹脂の経年劣化

対応は、

- ① 右足の足裏からの固定方法を、ボスにタッピングでの固定を止め、M2のネジとナットで固定する。
- ② 左脚の足固定板の割れを2液性エポキシ接着剤で接着し、足裏からの固定方法も同様に、M2のネジとナットで固定する。

## ファービー2の修理法（足が外れた）

### 5. 修理

#### (1) 足を外す

残っているO印のネジ（タッピング 2.6X20）2本を外します。

拡大



#### (2) 外れた足の分解

各足のO印の△頭ネジ（タッピング 2.6X10）を各2本を外し、欠けた固定ボスを外します。

折れた固定ボスは粉々に碎けて再使用できません。

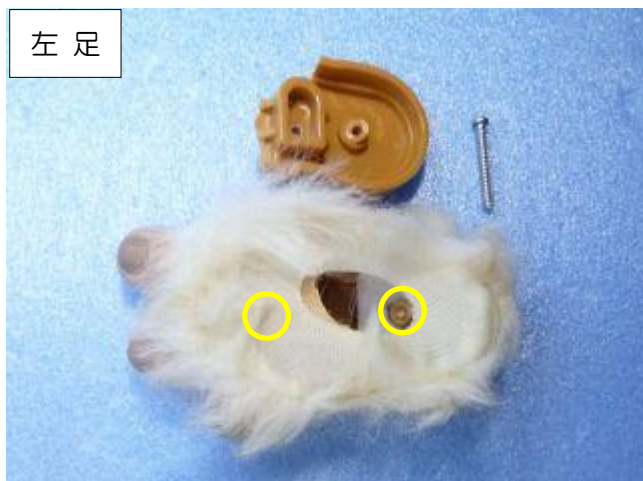
右足



碎けた固定ボス



左足



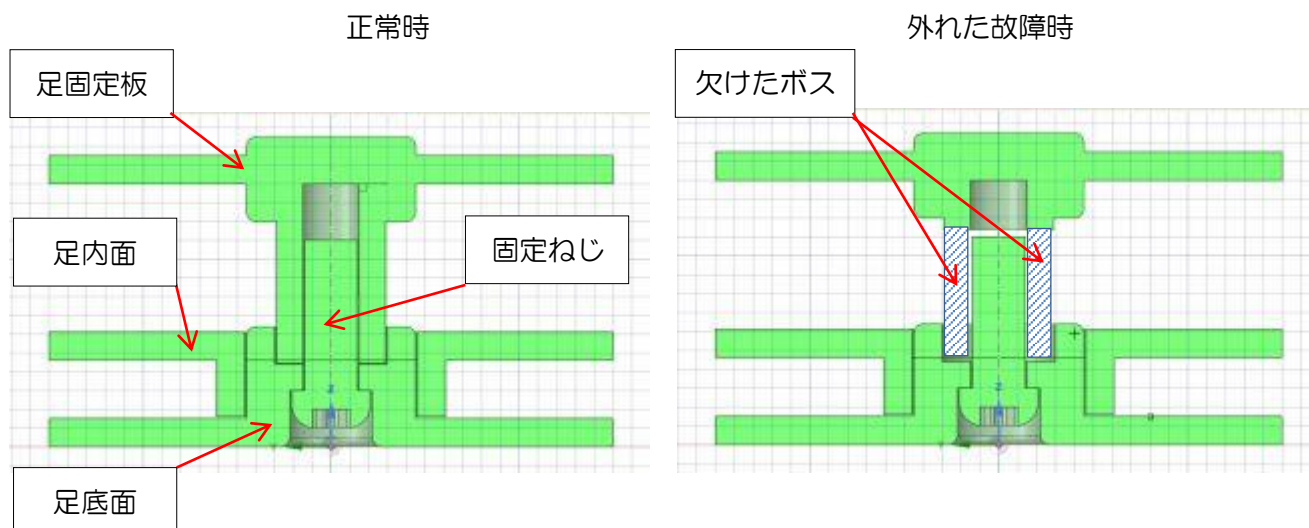
碎けた固定ボス





## ファービー2の修理法（足が外れた）

画像では外れた状態が分かり難いので、断面図で説明すると、

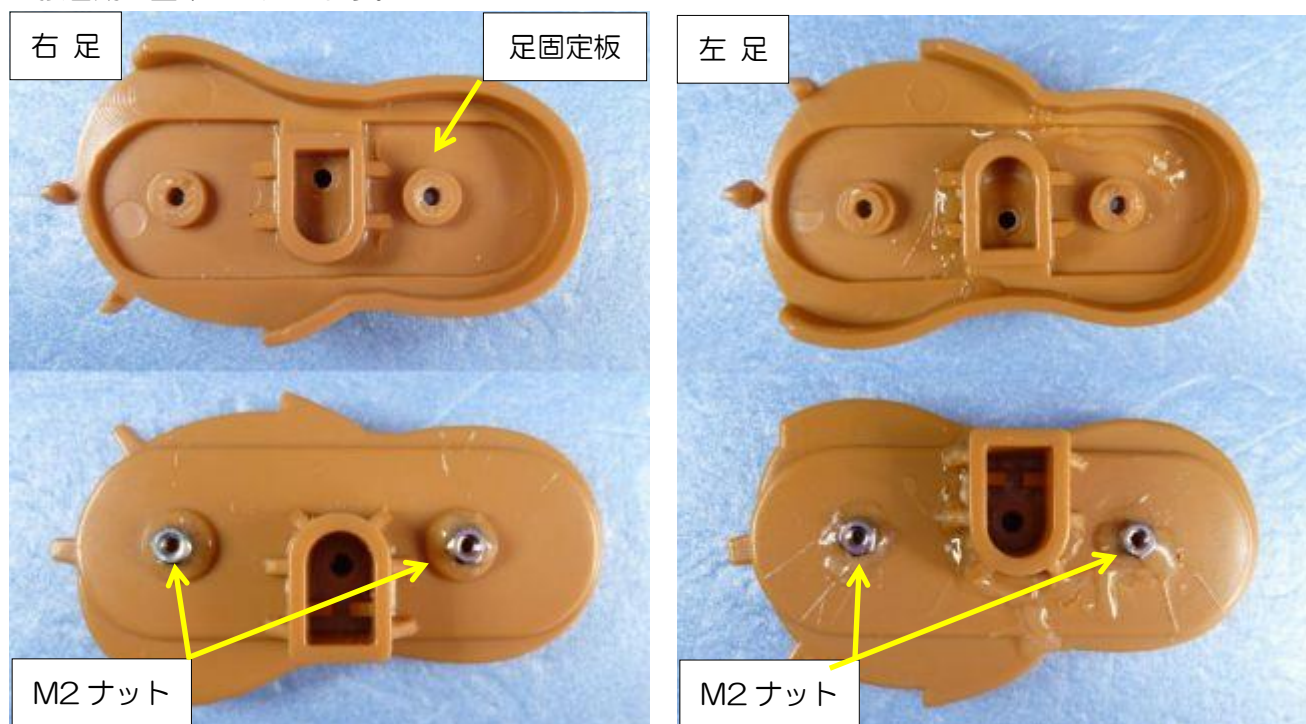


### (3) 足固定板の修理

足裏からの固定ネジの固定ボスが1本でも残っておれば、プラリペア®による修復も可能ですが、今回はできません。

そこで足裏の固定を、ネジとナットで行えるように足固定板を改造します。

まず、足固定板の折れたボスにφ2.2mmの孔を開けます、そして裏側にM2のナットを2液性エポキシ接着剤を塗布し固定します。



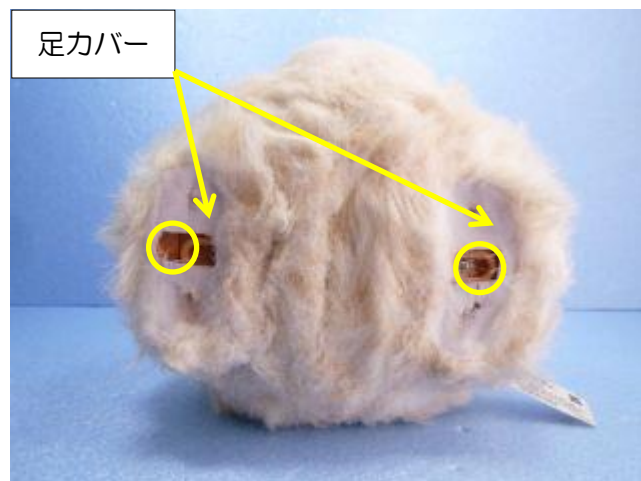
これで原因追及と修理が **完了** しました。

## ファービー2の修理法（足が外れた）

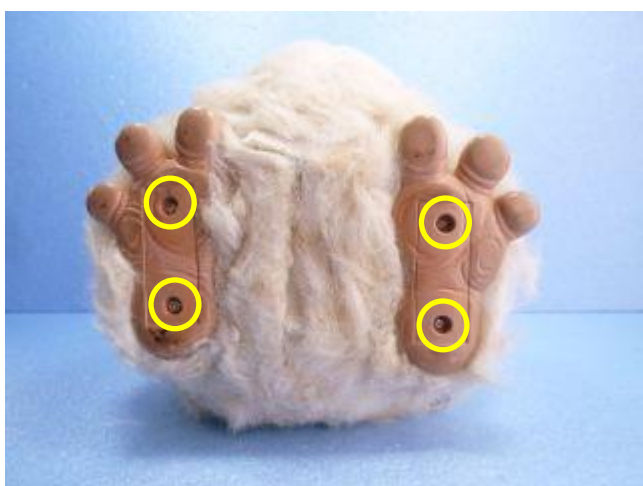
(4) 元に戻す

(a) 足固定板の取り付け

足固定板に足カバーを被せ、○印のネジ（タッピング 2.6X20）2本で留めます。

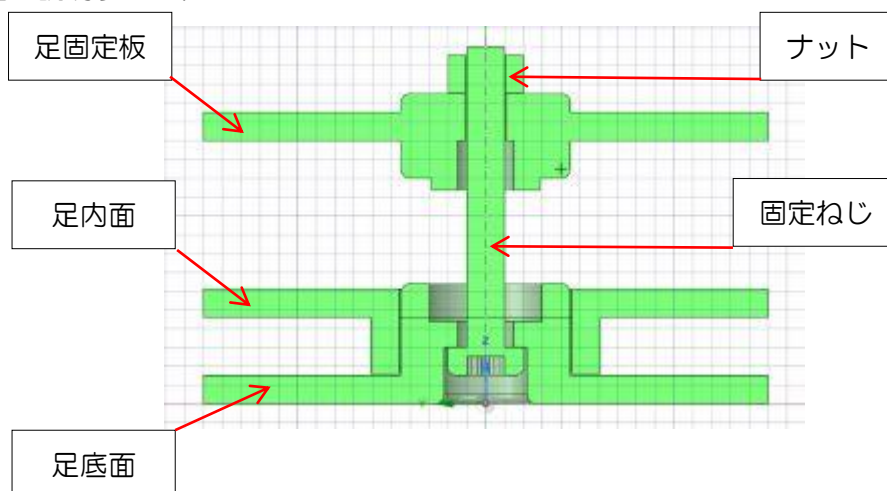


(b) 足底の取り付け



○印のネジ（M2X16）4本で留めます。

これを断面図で説明すると、



**完 成**

終わり